

3第10号陳情 狭山保育園の段階的廃園における住民感情と向き合う姿勢に関する陳情

受理年月日 令和3年11月22日

陳情者



付託する委員会 厚生文教委員会

陳情趣旨

狭山保育園の段階的廃園を進めるに当たって、子育て支援部長が断言した「住民感情を学ぶつもりはない」との姿勢の見直しを求めるもの。

陳情理由

狭山保育園の段階的廃園を巡る騒動においては、一貫して市職員側が保護者の感情を無視し、独りよがりな行動を取っていることが、問題を大きくしている要因である。そのため、形式上の説明会や懇談会を何度開催しても、全く歩み寄りができていないどころか、回数を重ねるほど両者の溝は深まる一方である。

懇談会の場において子育て支援部長は、東久留米市のしんかわ保育園の事例調査の目的が「安心安全な保育の確保」であり、「住民感情を学ぶつもりはない」とまで断言をしているが、こうした根本の姿勢を正さない限り現状の改善はありえない。

については、これまでの説明会及び懇談会のように「市が何をやりたいか」を主張するばかりでなく、「住民は何を求めているか」を傾聴し、学び、施策へ反映する努力を求めるものである。